

合言葉は

もったいない

ばちがあたる

ちょっとでも

つなぐ

心地よい

自信・誇り

行動しよう

- 身近な自然に関心を持ち、里山や水辺の保全活動に参加しましょう。
- 地元で採れた安全・安心な農産物の購入に努めましょう。
- 地元産、国内産の木材製品を使うように努めましょう。
- 節水に努め、家庭排水や事業所の排水は下水道に接続し、水路などに直接流さないようにしましょう。
- 川や海、水路などにごみを捨てないようにしましょう。
- 伝統行事や環境美化活動への参加を通して、人と人や地域とのつながりを深めましょう。
- 地域で子どもたちが身近な自然や歴史・文化に触れる体験活動を進めましょう。
- ごみの分別を徹底し、地区などで行われる資源ごみの回収活動に積極的に参加するなど、再資源化に協力しましょう。
- 買物袋（マイバッグ）を持参し、レジ袋はできるだけもらわないようにしましょう。
- 日常生活の中で、「冷暖房温度を適切に設定する」、「自動車運転時にはエコドライブを心がける」など、地球温暖化などの環境問題を意識して行動しましょう。
- 市外から訪れた大学生や研究者との交流の機会があるときは、積極的に参加しましょう。



より良い環境を次の世代へ (最終回)「目標とする姿の実現のために」

環境基本計画 15

環境基本計画の内容について、前回は全体の流れをおさらいしました。今回は、一人ひとりが実践する行動についてまとめました。できることから始めてみましょう。

《問合せ》コウノトリ共生課環境政策係 ☎21-9017

環境あれこれ

環境と経済の両立

(最終回) 26

環境に関する問題について、市の取組みなどをシリーズでお知らせしてきましたが、今回で最終回となります。

《問合せ》生活環境課生活環境係 ☎23-5304



●豊岡市のごみ量の変化

私たちを取り巻く社会情勢は、近年、目まぐるしく変化し、大量生産、大量消費社会の中でごみ量は増え続け、最終処分場の残容量が限界に近づくなど、ごみ問題は全国の自治体にとって早急に解決すべき最重要課題です。

市でも、清掃センターに持ち込まれるごみ量が、センター開設当初の平成2年度に約3万1200トンであったものが、平成12年度には、年間で約4万2800トンと10年間に約4割増えるなど、異常な状況に陥っていました。

その後、集団回収の奨励、分別区分の変更、有料化の実施、搬入物検査の強化など、市民の皆さんと共にさまざまな取組みを行った結果、平成20年度の搬入ごみは、セン

ター開設以来最も少なく、3万トンを切る見込みです。

●経済情勢とごみ量の関係

しかし、搬入ごみの減量は、長年取り組んできたごみ減量の成果ばかりとは言いが切れません。アメリカのサブプライムローンに端を発した百年に1度と言われる経済不況は、工場の生産ラインを止め、多くの

人々の職を奪っています。当然、消費は落ち込み、そのことが不本意ながらごみ減量にもつながっています。

最近まで大量消費社会を批判していた評論家もマスコミも今は、そろって消費拡大を訴えています。

今、経済情勢の悪化から立ち直るためには、消費拡大が急務です。しかし、経済情勢の持ち直しとともに、ごみ量まで元どおり増やしては何の

意味ありません。

●環境と経済の両立

環境問題の第一人者である早稲田大学教授の寄本勝美さんは次のとおり述べています。「経済の回復と安定を図るためには、それに必要な量の生産と消費活動が不可欠であり、経済と環境の両立が求められなければならない。無駄な生産や消費は徹底的に改めなければならぬが、必要量の経済活動や消費生活から出てくる廃品や廃棄物は、徹底的にリサイクルして廃棄物の減量や資源の有効利用に努めることこそが問われている」。

●終わりに

私たちが生きていく限り、どんなに減量努力をしても必ずごみは排出され、決してゼロにはできません。

当然、廃棄物を処理する施設をどこかに建設しなければなりません。地元の方々だけの問題である問題に一人ひとりがごみ問題に関心を持ち、また責任を持つことこそが、循環型社会の第一歩であると考えます。



おめでとうございます

(敬称略)

兵庫県こうのとり賞

▽河部艶子(但東町木村)

「但東っ子通学合宿実行委員会」を組織するなど、青少年の健全育成・地域活性化に尽力されました。

▽川見時男(泉町)

外出が困難な障害者や高齢者の理容・整髪ボランティア活動を続け、さらに、利用者の話や悩みを傾聴するなど、メンタルヘルス面でのサポートにも尽力されました。

兵庫県くすのき賞

▽コープ子育てひろば「ひこうきぐも」(加広町)

子育て中の親子同士の仲間作りや情報交換を進める場を提供し、アドバイスをを行うなど、子育て支援に尽力されました。

▽豊岡病院ボランティア(戸牧)

外来患者の介助や病院案内、院内コンサートを開催するなど、きめ細やかなサービスを

提供し、快適な医療環境作りに尽力されました。

消防庁長官表彰

■永年勤続功労章

▽山本邦雄(竹野消防団副団長・竹野町芦谷)

▽山口進(出石消防団副団長・出石町八木)

▽田中徳夫(但東消防団副団長・但東町天谷)

青少年補導委員知事表彰

▽藤原恵弘(高屋)

財団法人

兵庫県体育協会表彰

■体育功労賞

▽橋本章(豊岡市体育協会理事・京町)

豊岡市消防本部消防長感謝状

▽池口直樹(目坂)

2月8日、目坂で発生した建物火災で、早期発見をするとともに人命救助と初期消火を迅速・的確に実施し、被害を最小限に止められました。

第57回 近畿高等学校 スキー選手権大会

(2月11日～13日・奥神鍋スキー場)

■ジャイアントスラローム優勝・スラローム優勝

▽中川剛聡(京都府福知山成美高3年・但東町天谷)

▽田中藍奈(京都府福知山成美高1年・野田)

2009年

学校自慢エコ大賞

■エコ活動部門 エコ大賞

▽新田小学校

「人・自然・命のつながりから学ぶ子をめざして」と題して、コウノトリと共生する環境教育に取り組んだ同校が、全国1367点の応募の中から大賞を受賞しました。



▲新田小学校のエコ活動

すくすく日記



本コーナーに出演いただくお子さんを募集します。対象は市内在住で2歳までの乳幼児。お子さんの写真の裏に氏名(ふりがな)、性別、生年月日、保護者の氏名、住所、電話番号とコメント(40字以内)を添えて、秘書広報課「すくすく日記係」へお送りください。



せな 杉森世渚ちゃん
(平成19年2月10日生)

2歳の誕生日おめでとう。元気いっぱいなのねが大好きです。優しい女の子になってね。
(父 光広・母 百合香・野田)



しずく 小坂凜ちゃん
(平成20年5月9日生)

いつも素敵な笑顔で周りを幸せにしてくれる凜。ママとパパの元気の源です。
(父 直大・母 麻理奈・桜町)



みつ 池田充希ちゃん
(平成19年10月31日生)

1歳の誕生日おめでとう。みつの笑顔が大好きだよ♡たくさん食べて大きくなっね。
(父 貴幸・母 直美・下陰)



かえで 古池楓ちゃん
(平成19年9月18日生)

よく泣き、よく笑う楓。これからも元気で健やかに育ってね。
(父 晶一・母 敦子・城崎町湯島)



そら 梅垣青空ちゃん
(平成19年5月20日生)

いつも元気な青空。笑顔の似合う爽やかBOYになってね♡いっぱい遊びに行こう！
(父 慎吾・母 典子・戸牧)